

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科(昼夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	嚥下障害 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 6限、7限	教室名	401
担 当 教 員	高田晃宏 永来努	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
嚥下障害の基礎知識と評価・治療を学習し、言語聴覚士の役割と課題について考える。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
使用テキストである「標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学」を事後に読んでおくこと。 授業中に示した課題を実施しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
摂食嚥下障害に対して興味を持ち、自ら積極的に学習できる基盤をつくって頂きたい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害に対する治療・訓練について理解し、説明できる。	プロジェクター 配布資料	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく	
		各コマにおける授業予定	間接訓練について学ぶ②			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害に対する治療・訓練について理解し、説明できる。	プロジェクター 配布資料	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく	
		各コマにおける授業予定	直接訓練について学ぶ①			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害に対する治療・訓練について理解し、説明できる。	プロジェクター 配布資料	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく	
		各コマにおける授業予定	直接訓練について学ぶ②			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下機能療法について得た知識を説明できる。	プロジェクター 配布資料	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく	
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下機能療法について総括的に学ぶ			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児領域の摂食嚥下メカニズムを説明できる	プロジェクター 配布資料	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく	
		各コマにおける授業予定	小児領域の摂食嚥下メカニズムを学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児領域の摂食嚥下障害について説明できる	プロジェクター 配布資料	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	小児領域の摂食嚥下障害について学ぶ		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児領域の摂食嚥下障害の治療について説明できる	プロジェクター 配布資料	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	小児領域の摂食嚥下障害の治療について学ぶ		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児領域の摂食嚥下障害の訓練について説明できる	プロジェクター 配布資料	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	小児領域の摂食嚥下障害の訓練について学ぶ		
第24回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第26回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第27回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第28回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第29回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第30回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			